

適用作物と使用方法

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	使用目的	使用時期	希釈倍数	※総使用回数	使用方法
トマト	着果促進	開花前3日～開花後3日位(1花房で3～5花位開花した時期)	低温時 (20℃以下) 50倍	1花房につき1回	散布
			高温時 (20℃以上) 100倍		
ミニトマト	果実の肥大促進 熟期の促進	開花前3日～開花後3日位	低温時 (20℃以下) 50倍	1花につき1回	
			高温時 (20℃以上) 100倍		
なす				1花房につき1回	
しろうり ズッキーニ		開花当日	50倍	本剤:花に1回 4-CPA:1花につき1回	
メロン	着果促進	開花前日～翌日	3～5倍	本剤:花こう部に1回 4-CPA:1花につき1回	塗布
			25～100倍	本剤:花に1回 4-CPA:1花につき1回	散布

- 2007年2月25日付:注意事項の追加
- 2007年5月9日付:ズッキーニ追加
- 2010年4月7日付:かぼちやの削除

【上手な使い方】

- ①霧吹きやハンドスプレー等の小型の噴霧器を使用してください。
- ②トマトでは3～5花程度開花した花房に、新芽や幼葉に散布液がかからないように手で軽くつまむようにして花房全体に散布してください。
- ③なすでは開花した当日に、花全体に散布してください。